

Arewa Textiles of African Print



アフリカ×日本
アレワ紡の時代
—ナイジェリアと日本の繊維生産1963-2005

2023年1月10日(火) - 2月17日(金)

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

開館時間: 10:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日: 日曜・祝日・1月14日(土)

入館料: 一般200円/大学生150円/高校生以下無料

* 大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学生は学生証の提示により無料
* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳を持参の方及び付添の方1名は無料(入館時、手帳を提示)

Arewa Textiles of African Print



アレワ紡製アフリカンプリント
(綿・ロータリー捺染) 2000年



アレワ紡製アフリカンプリント
(綿・ロータリー捺染) 1971-1984年

本展は、日本の経済協力によって、1965年にナイジェリアで生産を開始したアレワ紡績株式会社(アレワ・テキスタイルズ Arewa Textiles Ltd. 2005年閉鎖)に関する資料を紹介するものです。工場建設が始まった1963年から、日本企業の撤退した1988年まで、アレワ紡に勤務した歴代の方々から寄贈された貴重な資料の数々を展示します。

京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、2010年から機械捺染に関わる展示会を行ってきましたが、2013年に開催した「京都からアフリカへ 大同マルタコレクションにみる1960年代京都の捺染産業」展において、京都という伝統産業の地から、遠くアフリカに向けて大量のプリント生地を生産していたことが明らかになりました。この展示会の後、日本のアフリカ向けプリントについての研究が広がり、日本の技術提供で現地生産を行った「アレワ紡」資料の調査につながりました。いわば、もう一つのアフリカンプリント生産といえる資料で、今回が初めての紹介となります。

アレワ紡は日本の十大紡(大日本紡績、東洋紡績、敷島紡績、大和紡績、倉敷紡績、呉羽紡績(のちに東洋紡績に合併)、鐘淵紡績、富士紡績、日清紡績、日東紡績)が60%(ナイジェリア40%)を共同出資して、ナイジェリア北部州カドナに設立した繊維生産工場です。原綿から製糸、織布、染色、加工の一貫工場で、当初は、紡績1万錘、織機400台、晒加工1セットでスタートし、のちに現地従業員4000人を超える西アフリカ有数の工場となりました。十大紡のほか、大阪染工、笠野染工、高木彫刻、ニチメンから専門の技術者が現地に赴任し、技術指導や経営を行いました。またアレワ紡は、日本のODA(政府開発援助)の先駆けでもありました。

1960年代から1980年代まで日本の繊維産業の技術者たちが、アフリカの現地従業員たちと製造したアフリカンプリントは、当時の現地生産を語る貴重な資料といえるでしょう。アレワ紡に関する作業書類や写真などもあわせ、繊維産業を通じた日本とアフリカの交流の一面を知る機会となれば幸いです。



アレワ紡工場 創業当時(写真) 1965年



西アフリカの花 火焰木(写真) 2000年



アレワ紡製アフリカンプリント(綿・ロータリー捺染)
1971-1984年



アレワ紡製アフリカンプリント(綿・ロータリー捺染)
1971-1984年



アレワ紡製アフリカンプリント
(綿・ロータリー捺染) 1972/1981年

表面:
アレワ紡製アフリカンプリント
(綿・ロータリー捺染) 2000年

トークショー「〈アレワ紡の時代〉を語る」

当時を知る方にお話を聞く座談会 & ギャラリートーク

日時: 2023年1月27日(金) 14:00 ~ 16:00

場所: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 * 入館料が必要です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止させていただく場合があります。ご来場前に必ず当館ホームページにて開催の有無をご確認ください。

当館の感染症予防対策の取組み

- お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- 受付には、飛沫感染防止用つい立てを設置しております。
- 館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気に努めております。
- 多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

ご来館の皆様へのお願い

- 発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪の症状がある方や、体調のすぐれない方の入館はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- マスクの持参・着用をお願いいたします。
- 来館時に検温を実施いたします。37.5度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りいたします。
- 団体でのご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- 設置している消毒用アルコールで、手指の消毒をお願いいたします。
- ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

- 市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- 京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- 叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, exit from Exit 1 and walk east for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at "Takano-Izumicho" stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at "Shugakuin" Station and walk west for 15 minutes.

Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.

